

# 暮らしの コーディネート ～第2回～

## 進化を続ける機能性キッチン

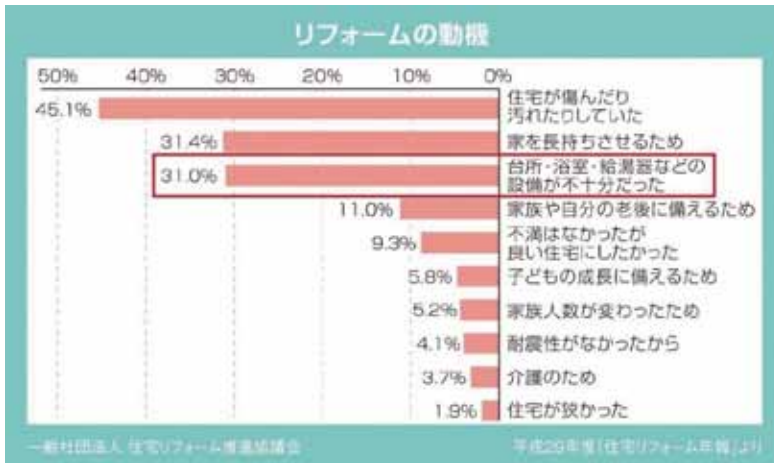
時代や社会の変化に伴って、住まいもさまざまな進化を遂げてきました。例えばキッチン。昭和の初めLDKが普及したことにより、台所で作業をする主婦が孤立をせず、家族と会話を楽しみながら作業ができるようになりました。今では、住まいの中心といっても過言ではないキッチンの変遷についてお話ししましょう。

### 機能性が求められる 新時代のキッチン

昭和時代、「台所」と呼ばれていたキッチンは、デザイン性と機能性を兼ね備え、どんどん進化していきま

した。  
ステンレス流し台の誕生、DKの普及、システムキッチンの登場など…。時代の変化とともにキッチンは住空間をより豊かなものへと高め、それに付随して多くの機能性機器も誕生・進化を遂げています。

住宅リフォーム推進協議会「住宅リフォーム年報平成29年度」のデータをみると、リフォームの動機として「設備向上を求めた」という声



が3位に挙げられていることがわかります。最近では、古くなったからリフォームする」という必然的な理由だけでなく、「機能を充実させたい」というニーズが高まってきているようです。

### 令和の住まいは 家事の時短がポイント

これからキッチンは、さらにどう変わっていくのでしょうか。ライフスタイルが大きく変化している現代、特に、1999年以降は共働き世帯が専業主婦世帯を上回り、仕事と家事の両立が大きな課題となっています。

ポイントとなるのが「家事の時短」



です。機能性を高めたキッチンが家事をサポートすることで、暮らしにゆとりや快適性をもたらせてくれます。キッチンだけでなく時短ライフを可能にするラクテクリフォームを考えていけるといいですね。